<table>
<thead>
<tr>
<th>Title</th>
<th>マーベル・タイルコート著 一八五一年以前におけるランカシアおよびヨークシアの機械工学校</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>Sub Title</td>
<td>The mechanics' institute of Lancashire and Yorkshire before 1851, by Mabel Tylecote</td>
</tr>
<tr>
<td>Author</td>
<td>飯田, 鼎</td>
</tr>
<tr>
<td>Publisher</td>
<td>慶應義塾経済学会</td>
</tr>
<tr>
<td>Publication year</td>
<td>1960</td>
</tr>
<tr>
<td>Genre</td>
<td>Journal Article</td>
</tr>
</tbody>
</table>
なたの学習や成長、教育における重要な役割を果たすことに、産業革命の先駆けとなった教育機関の役割が注目されている。この時期に創設された機械工学校は、技術者の育成と産業の発展に寄与した。特に18世紀末から19世紀初頭の間に、マンチェスター、ヨークシャー、ラーンカシャーなどに設立された機械工学校は、産業革命の先駆けとなった重要教育機関であった。

産業革命の先駆けとなった教育機関の役割が注目されている。この時期に創設された機械工学校は、技術者の育成と産業の発展に寄与した。特に18世紀末から19世紀初頭の間に、マンチェスター、ヨークシャー、ラーンカシャーなどに設立された機械工学校は、産業革命の先駆けとなった重要教育機関であった。
のみが表面

著者は

当時、筆者、は、ヴィクト。

関係に

当時、筆者、は、ヴィクト。

関係に

当時、筆者、は、ヴィクト。

関係に

当時、筆者、は、ヴィクト。

関係に

当時、筆者、は、ヴィクト。